

「ふくしまからはじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動」 会津地方かわら版

会津地方推進本部(福島県会津農林事務所)

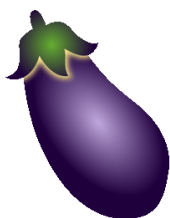
平成26年8月5日(火)発行

平成25年度 喜多方市小学校農業科作文コンクール 大賞作品の御紹介(連載第2回)

喜多方市教育委員会では、平成21年度より標記コンクールを実施しています。

目次

- 1 平成25年度
喜多方市小学校農業科作文コンクール
大賞作品の御紹介(連載第2回)
- 2 会津地方推進本部構成員の取組紹介
- 3 会津農林事務所からのお知らせ
- 4 今後の行事(イベント)等



目的

- ・「豊かな心」「社会性」「主体性」の育成を目標とする喜多方市小学校農業科の成果を子どもたちの作文を通して検証する。
- ・喜多方市小学校農業科に取り組む子どもたちの感動や発見等を保護者や地域住民など広く一般市民に伝え小学校農業科に対する一層の理解を図る。
- ・広く喜多方市小学校農業科の成果を全国に発信する機会とする。

応募作品は素晴らしい作文ばかりですが、本紙では5点の大賞作品を連載で御紹介しています。

【大賞】

農業の大切さ

高郷小学校 六年 高橋 愛那

農業は人間が生きるためにとっても大切なことだと思う。その理由が三つある。

一つ目は、人間が食べる食事のことだ。野菜や米、他にもいろいろな作物は、農家の方々が一生けん命作っているものだ。実際に私の祖母が野菜を作っているが、その作業はとても大変で、また、大雨や大雪、雨が降らないことなど、野菜などを作るときは自然と向き合っていかなければならないということ、この六年間で学んだ。もちろん野菜や米以外にも、魚や肉などの食品もあるが、野菜は体の調子を整えるのに大切な食品であり、野菜がなければもしかしたら栄養が不足して、みんな病気にかかりやすくなってしまうかもしれない。だから農業は人間の体にとっても大切なのだ。

二つ目は、自然と向き合えるということだ。小学校で実際に体験したが、土にさわったり、作業はたしかに大変だけれど、汗を流しながら農業をすることは、とてもすがすがしかったし、心がとてもすっきりした。特に野菜や米を収穫したときは、感動して、自然が好きになった。農業をすることは私にとって自然が好きになるきっかけになった。

三つ目は、いろいろな人と交流できるということだ。農業科をやらなければ交流することがなかった支援員さんには、とてもいろいろなことを教えてもらうことができたし、祖母とも農業について話をすることができた。このように、農業がなかったら会えなかった人と接したり、農業を通して今までよりも話をするのができた人がたくさん増えた。

私は農業を通して、これからももっと生きるために大切なことをさがしていきたいと思う。作物も生き物だということを忘れずに、農家の人に感謝しながら過ごしていきたい。

※喜多方市ホームページよりコンクール作品集をご覧いただけます。

<http://www.city.kitakata.fukushima.jp/shimin/gyosei/14902/14980/18176/index.html>

会津地方推進本部構成員の取組紹介

～会津若松酒造協同組合を訪ねて～

会津若松酒造協同組合 専務理事 岩澤庄司さん

会津若松酒造協同組合は、酒どころ会津の会津若松市、猪苗代町、磐梯町の酒類を製造する12の組合員からなり、製造に必要となる原材料の共同購入や共同販売・宣伝等をおこなっている組織です。

平成26年4月25日には会津若松酒造協同組合が事務局である会津清酒消費拡大推進協議会が中心となって「会津 日本一おいしいお酒が飲める郷」を宣言、会津の清酒を通して会津の文化の発展を目指す取組を行っています。

そこで、会津若松酒造協同組合の活動と今後の取組について専務理事の岩澤庄司さんにお話をお伺いしました。



岩澤専務理事

(1) 風評による影響について

組合では県内外において、年間数多くのイベントや物販をおこなっています。

県外のイベント等では復興支援ということもあり、その時は購入してもらえますが、通常店頭には他県のお酒がメインに並べられており、福島県産のお酒は端っこに置いてある場合が見られます。

福島産と他県産が並べられているとお客様が選ぶのは他県のお酒という場合が多くなっています。

平成23年、震災の年に韓国への輸出に取り組む計画で進めていたのですが、計画は中止となりました。近年韓国では日本食ブームにより、日本酒の評価が高く、購買力も高いと聞いています。



イベント「会津清酒屋台村」の様子

新潟県は韓国で商談会を実施しており、県でいくつものブースを借り上げて米などの農産物を含めたお酒をPRしていると聞いています。福島県でもぜひ同じような取組ができればと考えています。

(2) 若い女性をターゲットにした会津のお酒のファンづくり

県外向けPRとしては平成27年のディスティネーションキャンペーン(DC)に向けて今年はプレDCの取組に積極的に参加をしています。特に今年度の取組の目玉は、首都圏のホテルにおいてイベントを開催する計画をしております。

そこでは20～30代の女性を対象としたモニターインタビューを開催し、各酒蔵からお酒をPRし、モニターの女性からいろいろな意見をいただくこととしています。

そこで終わることなく、実際の酒蔵の会津に来てもらい、会津でおいしい料理とお酒を味わってもらって、より一層会津のファンになってもらうことが一番の目的です。

(3) 今後の取組について

会津は日本一おいしいお酒が飲める郷です。最近では日本酒での乾杯条例が制定される市町村が出てくるなど、お酒の消費拡大の様々な取組が行われています。

地元会津の皆様にも会津のお酒の美味しさ、お酒のおいしい飲み方、お酒にあう料理の提供などもっとPRしていただき、消費拡大につなげていくことが大切であると考えています。



会津農林事務所からのお知らせ

○「ふくしまの農育」推進事業田んぼの学校における生きもの授業が行われました○

去る7月11日に、「ふくしまの農育」推進事業田んぼの学校の一環として、農村の身近な生きものに関する授業が湯川村立笈川小学校及び勝常小学校の合同で行われました。

今回は、台風上陸の影響でやむなく笈川小学校教室で行われ、笈川小学校4年生26名、勝常小学校4年生12名が参加しました。

最後に講師であるアクアマリンふくしまの春本氏が、「生き物を飼ったら、きちんと最後まで面倒を見て下さい。生き物にとって一番頼りなのは、飼い主ですから」と呼び掛けました。

児童には、この授業で学んだことと春本氏の願いを忘れずに成長して頂きたいものです。

【農村整備部農地計画課】



授業の様子

○喜多方市の「花でもてなす」取り組みについて○

喜多方市は、交流人口の増大を図るため、「花」をテーマとしたまちづくりを進めており、平成24年度から熱塩加納町の三ノ倉高原にヒマワリ等の花畑造成を行っています。

平成26年度はスキー場ゲレンデ等8.1haを活用し、菜の花5.4ha、ヒマワリ6.5ha、コスモス1.6haの栽培を進めています。

特に、ヒマワリは東北地方最大規模で、8月10日頃から約3週間にわたって花が楽しめるように計画されています。

このほか、市では平成26年度からはこれらの花を蜜源にした蜂蜜採取にも取り組み、6次産業化にも力を入れています。

【喜多方農業普及所 地域農業推進課】

※喜多方市ホームページより三ノ倉高原のひまわり畑生育状況をご覧いただけます。

<http://www.city.kitakata.fukushima.jp/shimin/gyosei/14902/9410/13608/18797/023703.html>



平成25年度の様子(写真提供:喜多方市)

○会津若松市の「あいづ食の陣・夏」(会津トマト)について○

会津若松市では、2014年4月に、「会津人が胸をはって美味しいといえる食材を、旬の時期に味わってほしい」との願いから、食の一大イベントを旗揚げしました。

現在実施されている「あいづ食の陣・夏」は、7月から9月の3ヶ月間で、テーマ食材は「会津トマト」です。

会津若松市内の飲食店や宿泊施設など80店舗でトマトを使った特別メニューの提供や販売が行われます。

参加店舗や提供メニューなどの詳しい情報は、市関連施設等に設置してあるパンフレットや専用ホームページを御覧ください。

【会津農林事務所 企画部】

※「あいづ食の陣」公式ホームページ <http://aizu-shokuno-jin.jp/>



食の陣のトマトフラッグ



今後の行事(イベント)等



8月28日(木) 道の駅「からむし織の里しょうわ」開所

場所：昭和村大字佐倉字上ノ原1

時間：10:00～(開所式)

【会津農林事務所 企画部】

9月6日(土)、7日(日)

食の祭典「おいしい ふくしま いただきます！」フェスティバル 2014

場所：いわき市アクアマリンパーク
(いわき市小名浜辰巳町 1・2号埠頭広場内)

時間：6日(土)10:00～17:00、7日(日)10:00～16:00

内容

- (1) 出展事業者による試食、実演、販売
- (2) 県内の農林水産物及びそれらを活用した加工品、名物料理のPR
- (3) 県産農産物等を活用した食文化発信
- (4) ステージイベント(有名人によるトークショー、お笑いステージ等)

※ホームページ <http://itafes2014.com/>

【会津農林事務所 企画部】

2014年8月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2014年9月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

【ご意見・お問い合わせ】

会津地方推進本部事務局

(福島県会津農林事務所企画部地域農林企画課内)

〒965-8501

福島県会津若松市追手町7番5号(会津若松合同庁舎2階)

TEL (0242)29-5369 FAX (0242)29-5389

E-mail: kikaku.af04@pref.fukushima.lg.jp

